

「千里金蘭大学紀要」の発刊にあたって

この度、「千里金蘭大学紀要」第一号が刊行されることになった。千里金蘭大学は、四年制の女子大学として平成一五年四月に生活科学部食物栄養学科の一学部一学科をもって設立されたが、平成一六年四月新たに人間社会学部人間社会学科及び情報社会学科の一学部二学科がこれに加わった。同時に、四〇年間存続した金蘭短期大学は千里金蘭大学の短期大学部として再編された。これによって、千里金蘭大学の当面の体制は整ったことになる。これを機に、これまで第三四号まで刊行を重ねてきた「金蘭短期大学 研究誌」は新しい「千里金蘭大学紀要」に統合されることになった。

言うまでもなく、大学人にとって最も重要な使命は、それぞれの専門的領域における研究と教育を推進することである。とりわけ、研究は、それに裏打ちされていない教育が空虚なものであることから、大学の営為の中核をなすものであるといえる。従来、ともすれば軽視されてきた大学における教育面の活動が昨今厳しく見直しを迫られ、またその充実が求められてきていることは事実である。しかし、それは大学における研究活動が十全であることを前提とし

ている。活発な研究活動が行われ、その成果が学生や社会に還元されることによってこそ、大学の評価が定まるものであると言ってしまうのではない。

その意味で、今回の「千里金蘭大学紀要」の刊行によって、本学における研究活動の成果を世に問う場を提供できることになったことは、喜ばしいことである。平成一七年、金蘭会学園は創立一〇周年を迎えるが、これを記念した論文集の刊行も予定されている。この新しい機会をとらえ、すべての教員がより一層研究に邁進し、その成果を公表することによって、わが国及び世界の知的生産活動に貢献されることを期待している。

千里金蘭大学学長

千里金蘭大学短期大学部学長

川 島 慶 雄